希学園 第408回 小4公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第408回公開テスト 小4国語 解説動画(2026年5月10日実施)	https://vimeo.com/1190673041/5f126dd6a7

1

1 悪人
2 太陽
3 家族
4 新着
5 初めて
6 決心

2

1 A エ　B ア　C イ
2 あ、今
3 イ
4 原稿用紙
5 ウ
6 目を丸く
7 Ⅰ C　Ⅱ どうせ
8 父の声

3

1 a サ　b ぱ　c シ　d け
2 フ～い（2完答）
3 イ
4 ウ
5 カラス
6 （記述題）
7 オ～た（7完答）
8 戦
9 X ｜　Y 2　Z 2

3

6 オオタカの若鳥のジグザグ飛行。（同意可）

配　点

1・2 1・3 1	各２点×１３＝２６点
3 6	６点
その他	各４点×１７＝６８点
	〈計〉１００点

1

1 「悪」の上の部分を「要」の上部と混同しないようにしよう。

2 「太」を「大」と書き間違えることのないようしっかり区別すること。

3 「族」をうっかり「旅」と書いてはいけない。

4 「新着」とは新しく届いたり、到着したりする場合をさすことばである。「新」を「親」としないように。

5 「初」と「始」の使い分けをおさえておこう。「初」は時間、順序の「最初」を表す。「始」は動作、物事の「開始」を表す。

6 「決心」とは、迷いを捨て心や考えを明確にあらわすことである。「決意」、「決断」などが類義語にあたる。

2

「小田くん家は南部せんべい店」　高森美由紀　※問題作成の都合上、一部表記を変更しています。

1 A…口を開けて寝ている様子を示す「ぽかんと」がはいる。B…寝ている状態から起き上がる様子を示す「むくりと」がはいる。C…母が、父に対してふだんなら言いにくいことをはっきりと伝える様子を示す「ピシャリと」がはいる。

2 毎日忙しく働くがゆえに、父が朝早くから家にいない状態が普通になっているのである。「連続する二文」をさがすという指定もヒントになっている。それが弘毅の「あ、今日はまだいたんだ…。」、「…父ちゃんがいるなんて変な感じだ。」という発言に表れている。

3 「ふさわしくないもの」を選ぶことに注意する。この時点では「親子レクには来ない」とは考えていない。

4 父に「読み聞かせなくっちゃ」と考えているものであり、「…書いていても」とあるところに注意しよう。本文の最終盤で、弘毅は「原稿用紙」を破り捨てていた。「カーディガンのポケット」もヒントになるだろう。

5 問７とも関わりの深い問題である。実の子どもではないことに対して後ろ向きに考えている部分が、今回の親子レクに父が来ないことによって悪い形で刺激されてしまったのである。「芽衣姉ちゃん」と自分を比べてしまっているところも手がかりとなる。

6 驚きを示す慣用句である。解答らんの「…を…く」という形と文脈を手がかりに答えよう。他にも体の一部を使った慣用句は数多くあるので、日々の勉強の中で身につけていってほしい。

7 Ⅰ 〰〰線ｃの部分で、母が父に対して「弘毅には、あたしとあなたしかもういないの」と発言していた。厳密には「芽衣姉ちゃん」、「よっしー」、「なぎばあ」も一緒にいるが、ここでは「弘毅が頼りにできる存在は（実の両親はもういないので、その代わりになれる者としては）自分と父しかいないのだ」という意味で発言している。

Ⅱ 父が親子レクに来ないことを知り、感情が高ぶった弘毅の発言の端々に「どうせ」ということばがある。「どうせオレは本当の子どもではないから大事にしてもらえないんだ」という考えが読み取れる。

8 通読時に違和感を覚えてほしいところである。父母の話し合いの場面において、母の発言の直後に、急に「父の声音が…」と続いている。ここに父の発言をもどせばよい。

3

「カラスの教科書」　松原始

1 a「エキサイト」…興奮すること。b「もっぱら」…「専ら」と表記する。そのことだけに集中する、という意味のことばである。c「シーン」…場面。d「のけぞり」…上体を後ろにそらせる動きのこと。

2 「この習性」とは一つ前の段落で説明されていたカラスの習性である。一行前に「フクロウっぽいものは…」とあるが、ここでは指定の条件に合わないので同じような内容のことばをさがそう。

3 かならず傍線を含む一文や前後の文脈を確かめること。カラスの悲鳴を聞いて集まった他のカラスたちがフクロウ（のデコイ）を見て大声で騒ぎ、それを聞いた仲間たちがさらに集まるのである。

4 A…「クロウ・シューティング」の流れを順に説明している流れなので順接の「そこで」がはいる。B…オオタカの爪が突き出されたがカラスはそれをかわした、という流れのため逆接の「だが」がはいる。C…カラスが猛禽を嫌うという話題からカラスの寿命についての話に切りかわっているため、話題転換の「さて」がはいる。

5 主語を答える問題である。一見「猛禽（類）」や「トビ」などが主語と感じるかもしれないが、ここより前の段落から「カラスは猛禽も嫌いである」という話が続いており、話題の中心は「カラス」であることをふまえて答えよう。

6 一文を読むと「これについて行けないカラスは…」とあり、オオタカの若鳥のことであると見当がつく。あとは指定字数に合わせて答えを組み立てる。どのような飛行であるのかも説明するとよい答えになるだろう。

7 直前の「下からカラスを蹴り上げた」が目についただろうが、指定字数に合わない。一つ前の段落の冒頭に段落の内容をまとめた表現があるのでそこに注目する。

8 一つ前の段落で、オオタカの飛び方を「戦闘機でいうシザース機動」と表現していたことに注目する。オオタカを戦闘機にたとえているのである。

9 X…本文三段落目に書かれている。Y…猛禽がカラスにとっての天敵なのであり、たとえ集団であってもカラスは猛禽の天敵ではないので誤り。Z…「鳥の野生状態での寿命は飼育下の半分」なので誤り。

以上